



自社ブランド牛の葉山クィーンビーフ
と三浦牛

- 本社所在地：神奈川県横須賀市武1-3-15
- 事業概要：食肉卸売・小売業
- 常時使用する従業員：144名
(2025年6月時点)
- 現在の売上高：72億円
(2024年9月期)
- 法人番号：6021001042908
- Web：https://www.kooshin.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
三留 晃

育ててもらった三浦半島へ。“食”で未来をつなぐ挑戦

私は三浦半島で生まれ育ち、この地域と共に歩んできました。農畜産物の生産からお客様の食卓まで一貫して担う事業を通じて、地域への恩返しと未来への貢献を目指しています。「鮮度の高い商品をよりお求めやすく」を使命のもと、安心・安全・美味しさにこだわり、信頼される企業として進化を続けます。これからも地域に根ざした企業として、事業の幅を広げながら100億円企業という次のステージへ挑戦し、持続可能な未来に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上100億円の達成を目指しています。この目標に向け、2026年に稼働予定の新工場を成長の起点とし、惣菜・加工品の製造拡大、学校給食や自衛隊給食事業への拡大・参入を進めてまいります。自社牧場で育てたブランド牛を活用した商品開発と、「牧場直送×一貫体制」という当社ならではの強みを持続可能な成長を実現します。

課題

- ・新工場・既存店の人材の確保・育成
- ・惣菜商品の開発・販路拡大
- ・外食向けの販路拡大に対する営業体制の強化
- ・原価高騰・国産牛の需要減少への対応

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場での惣菜・精肉商品の大量供給体制を構築する
- ・HACCP対応の衛生管理体制を導入し、公共機関の調達基準に対応
- ・ホテルやレストラン、ふるさと納税向けに自社ブランド牛銘柄牛使用などのPB商品の強化
- ・自社ブランド牛を活かした付加価値・生産から販売までの一貫体制を強みにしたストーリーマーケティングの展開

実施体制

- ・機械設備の導入により人手不足に対応。研修によるスキル底上げ
- ・新工場に高度な機械設備を投資済み。惣菜ラインの確保によりPB商品の開発。
- ・既に参入済みの自治体に加え、横浜市などの大規模自治体・自衛隊への拡大を進行中
- ・「牧場直送×一貫体制」の強みを生かした販促実行チームの組織措置

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現

2035年に売上100億円の達成を目指しています。
 この目標に向け惣菜・加工品の製造体制を強化するとともに、精肉部門では高度な機械設備を導入予定。小売店の人手不足にも対応できるようアウトパック事業を展開する。すでに一部市町村で参入している学校給食事業の拡大、および自衛隊給食事業への参入もHACCP対応施設とし進めてまいります。新工場では初年度に3億円、2年目に6億円の売上を見込み、以降は年率104%の成長を目指しています。既存の小売・卸売部門においても、店舗再開等リスクを見込みながら年率102%の成長を目標とし、両軸での売上拡大に取り組みます。また、当社グループが有する自社牧場で育てたブランド牛を活用した商品開発と、「牧場直送×一貫体制」という当社ならではの強みを活かすことでより多くのお客様へ国産商品、地産地消をお届けしてまいります。100億円という売上は、単なる数字ではなく、地元の魅力を発信し、地域に雇用と価値を生む企業へ成長するための通過点です。これからも地域と共に歩み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

売上高



100億達成